

R8年 1月29日

枚方市自立支援協議会就労支援部会報告（令和7年度）

就労支援部会長

わらしべ会 西川 滋人

就労支援部会（3ワーキングチームの構成と活動内容）

①就労移行・就労定着ワーキングチーム・・・主に就労移行事業所で構成。

事業所合同説明会・福祉サービス体験会等を実施。前年度より就労サービス全体での

（移行、継続A・B型）福祉サービス体験会を実施し、事業所間の連携強化と就労系サービスの周知を図っています。その他、事業所や企業への見学、支援者並びに障害当事者向けの研修等を通じ学習機会を増やし、質の高いサービス提供に繋がられるよう取り組んでいます。

②共同受注と優先調達ワーキングチーム・・・工賃向上を目指し、障害者優先調達推進法の取組みを進め、市役所各課から官公需役務の受注を行っています。

2年前に始めたソーシャルファームプロジェクトは、地ビール製造事業でホップ栽培やラベル貼り作業を継続し地産地消に貢献しています。また、各課から受注した除草作業も事業所間で情報共有と協業を図りながら、熱中症等に注意しつつ順調に進めることができています。

大型契約の事務や役務振分けに絡む問題については、柔軟な対応を図れるよう各事業所間で更に協議を重ね課題解決に向けた取組みを行います。

③共同販売ワーキングチーム・・・新たに構成されたチーム編成で着実に販売機会を増やせるよう定例会を重ねました。自主製品の積極的な販売先確保に向け、市内事業所へのアンケートを実施し、次年度以降に向けたPR冊子作り等に繋がります。その他、くずは生涯学習市民センターでの定期販売会や、新たな出店場所として「くらわんか花火大会」への参加も行き、大きな成果を得ています。

※施策への取組み等

本年10月から始まった就労選択支援事業について、参入予定の事業所と情報共有を図りつつ、実際の実務を想定した協議を重ねました。また、施策の策定にも関わられた金川善衛氏

（ワンモア八尾）をお招きし、地域ぐるみで支援できる仕組みづくりを学べる機会を設けました。

最後に、従来の福祉は『守る』→『生活を支える』発想が中心でしたが、これからの福祉は『社会を作る』→『地域経済を動かす』という方向にシフトしてきています。当部会でも情勢を適切に見極めつつ、必要に応じた働き掛けができるよう努めたいと考えています。